

2007年度
第3四半期決算
Conference Call

2008年2月8日
日本新薬株式会社



業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	41,992	100.0%	44,017	100.0%	2,025	4.8%
営業利益	3,716	8.9%	5,231	11.9%	1,515	40.8%
経常利益	4,145	9.9%	5,986	13.6%	1,841	44.4%
当期純利益	2,232	5.3%	3,430	7.8%	1,198	53.7%

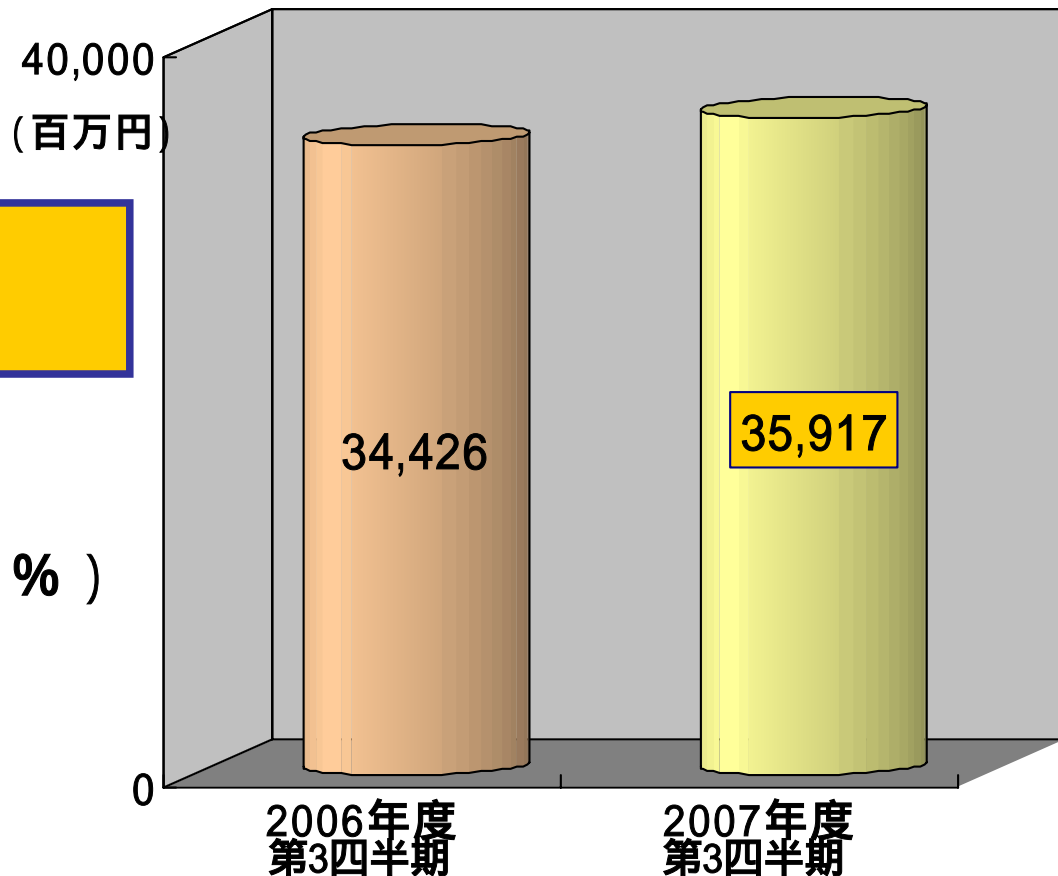


部門別業績推移 医薬品

実績 35,917百万円

対前年同期比

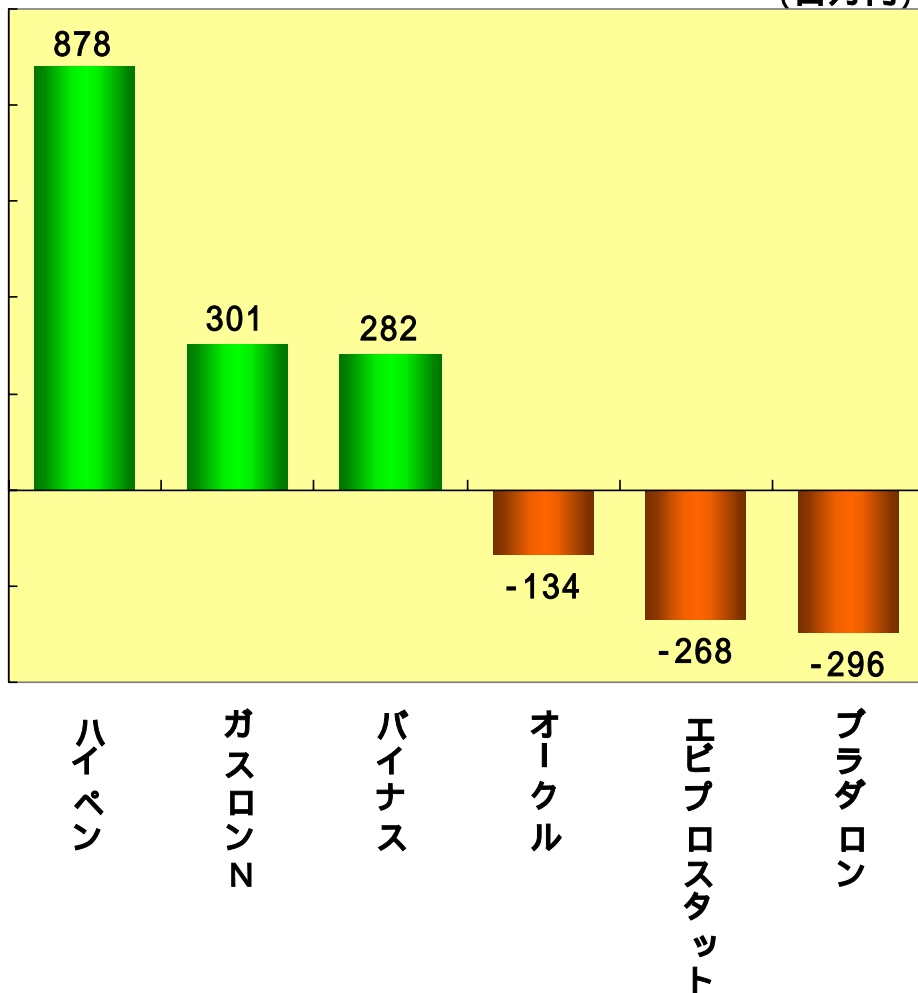
+ 1,491百万円(+ 4.3%)





主力品目 売上高増減

(百万円)



- ・ハイペン(21.2% up)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)
- ・ガスロンN(10.4% up)
(粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤)
- ・バイナス(34.8% up)
(アレルギー性鼻炎治療剤)

等の伸長

- ・ブラダロン(9.7% down)
(頻尿治療剤)
- ・エビプロスタット(5.7% down)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・オークル(18.1% down)
(抗リウマチ剤)

等の減少



医薬品売上の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	33,355	96.9%	34,192	95.2%	837	2.5%
工業所有権等収益	153	0.4%	680	1.9%	527	344.4%
フルリフロキサシン原薬	800	2.3%	909	2.5%	109	13.6%
受託製造	118	0.3%	136	0.4%	18	15.3%
医薬品合計	34,426	100.0%	35,917	100.0%	1,491	4.3%

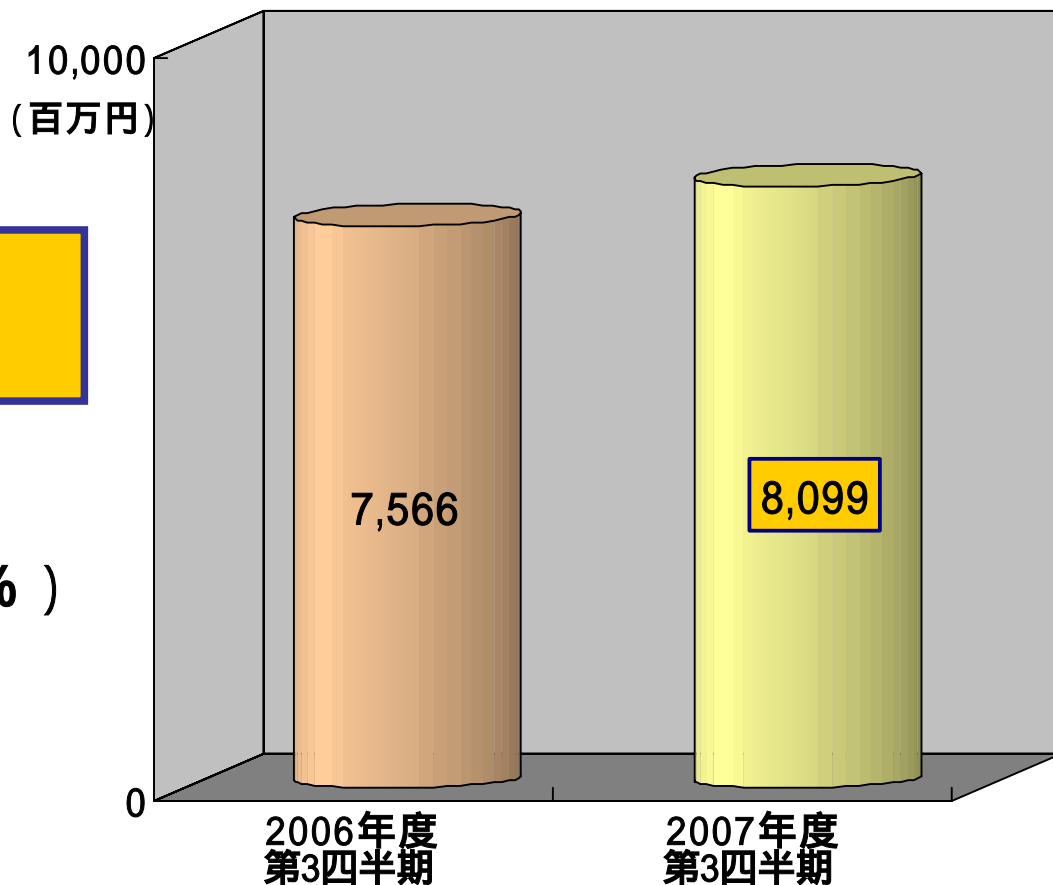


部門別業績推移 機能食品

実績 8,099百万円

対前年同期比

+ 533百万円 (+ 7.0 %)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
調味・香辛料	397	5.2%	412	5.1%	15	3.8%
健康食品素材	583	7.7%	442	5.5%	141	24.2%
品質安定保存剤	1,094	14.5%	1,093	13.5%	1	0.1%
たん白製剤	4,648	61.4%	5,263	65.0%	615	13.2%
除菌・洗浄剤	285	3.8%	332	4.1%	47	16.5%
小麦製品	110	1.5%	98	1.2%	12	10.9%
その他	449	5.9%	459	5.6%	10	2.2%
機能食品合計	7,566	100.0%	8,099	100.0%	533	7.0%

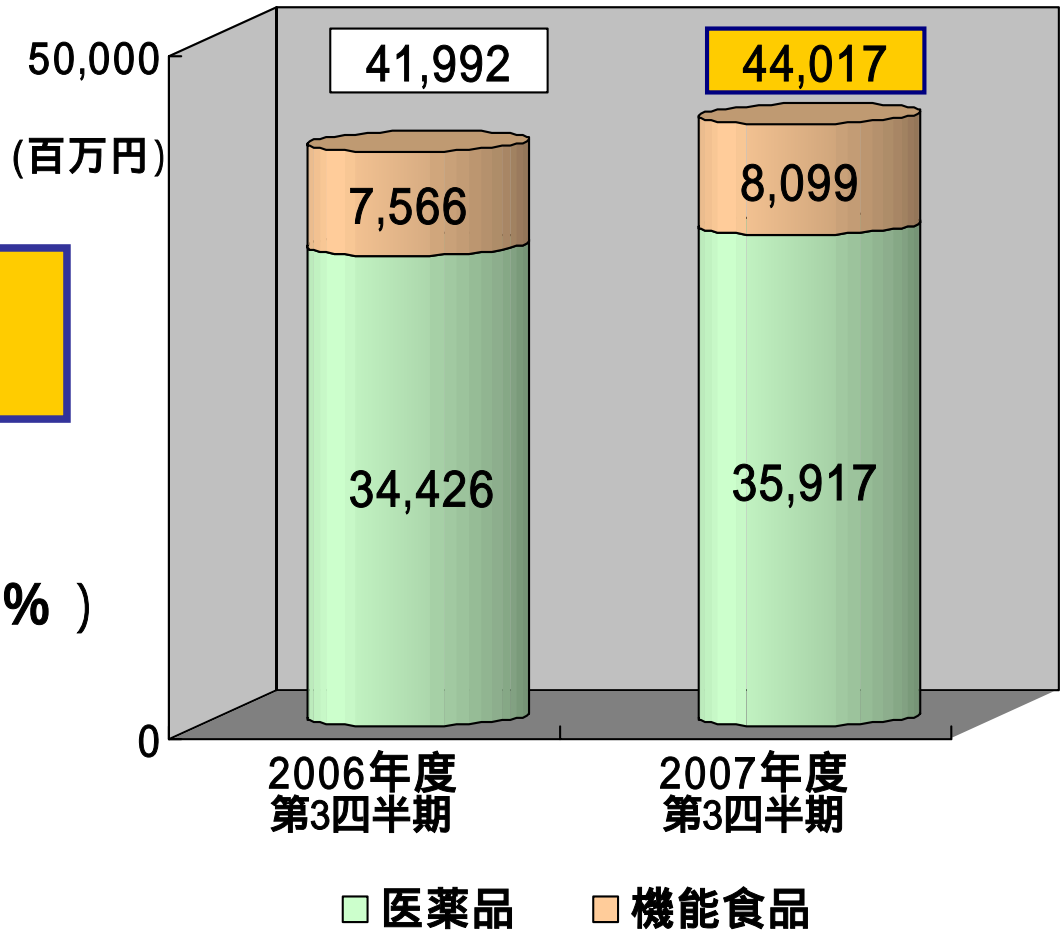


業績推移 (連結) 売上高

実績 44,017 百万円

対前年同期比

+ 2,025 百万円 (+ 4.8 %)





業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	41,992	100.0%	44,017	100.0%	2,025	4.8%
(医薬品)	(34,426)	(82.0%)	(35,917)	(81.6%)	(1,491)	(4.3%)
(機能食品)	(7,566)	(18.0%)	(8,099)	(18.4%)	(533)	(7.0%)
営業費用	38,275	91.1%	38,785	88.1%	510	1.3%
売上原価	18,561	44.2%	19,960	45.3%	1,399	
返品引当金戻入額	3	0.0%	3	0.0%	6	
販売費及び一般管理費	13,393	31.9%	13,188	30.0%	205	
研究開発費	6,324	15.0%	5,632	12.8%	692	
営業利益	3,716	8.9%	5,231	11.9%	1,515	40.8%

営業利益：売上高の増加、研究開発費の減少等により増益



業績の状況 (連結)

(百万円)

	2006年度		2007年度			
	第3四半期実績		第3四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	3,716	8.9%	5,231	11.9%	1,515	40.8%
営業外収益	851	2.0%	1,159	2.6%	308	36.2%
営業外費用	422	1.0%	405	0.9%	17	4.2%
経常利益	4,145	9.9%	5,986	13.6%	1,841	44.4%
当期純利益	2,232	5.3%	3,430	7.8%	1,198	53.7%

経常利益・当期純利益 : 営業利益、営業外収益の増加により増益



財政状況 (連結)

(百万円)

	2006年度	2007年度			2006年度	2007年度	
	期末実績	第3四半期 実績	増減		期末実績	第3四半期 実績	増減
資産の部	104,872	102,523	2,349	負債の部	28,659	25,379	3,280
(流動資産)	51,849	53,197	1,348	(流動負債)	14,129	13,199	930
(固定資産)	53,023	49,325	3,698	(固定負債)	14,530	12,179	2,351
				純資産の部	76,213	77,143	930
合計	104,872	102,523	2,349	合計	104,872	102,523	2,349



キャッシュ・フローの状況 (連結)

(百万円)

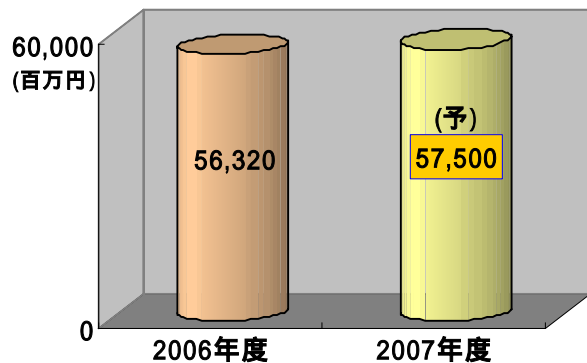
	2006年度	2007年度	2006年度
	第3四半期実績	第3四半期実績	期末実績
営業活動による キャッシュ・フロー	2,349	2,163	4,200
投資活動による キャッシュ・フロー	3,517	1,253	4,259
財務活動による キャッシュ・フロー	2,053	1,778	2,448
現金及び同等物の 四半期末残高	10,627	10,444	11,312

現金及び同等物の期末残高 : 対前年度比 868百万円

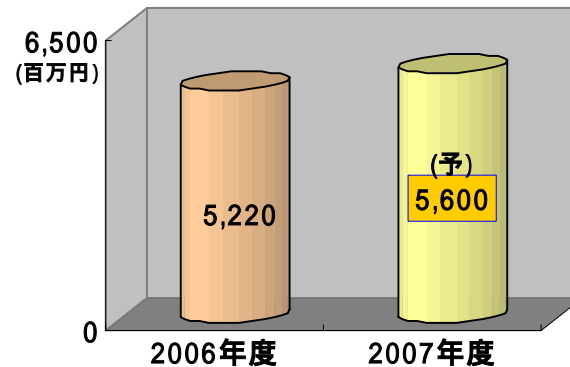


通期業績予想 (連結)

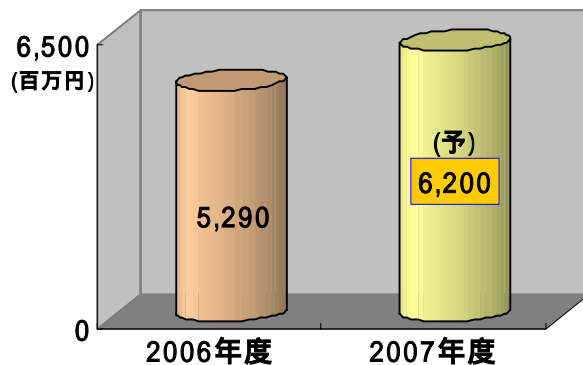
売上高 + 2.1 %



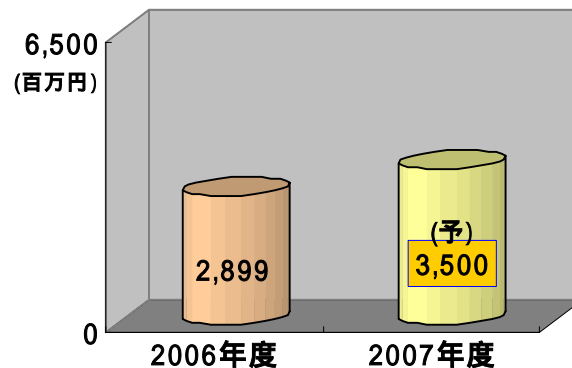
営業利益 + 7.3 %



経常利益 + 17.2 %



当期純利益 + 20.7 %



研究開発品目の進捗状況








新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等		開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NS - 126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド 剤	鼻 炎	申請中	→ 申請			
			喘 息	P	→			
IKH - 01 (導入)	新医療用 配合剤	月経困難症 (子宮内膜症に伴う)		申請中	ノヘルファーマ → 申請			
NS - 315 (塩酸トラマトール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛 (非麻薬性鎮痛剤)		P	→			申請予定
NS - 11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P	→			
NS - 17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群		P			→	
NS - 304 (自社)	新成分	肺高血圧症		P			→	



新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発状況	2005	2006	2007	2008年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売準備中	柳韓洋行社 	申請	承認 	
			US P		Optimer社 		申請予定
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P				
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P		Innovive社 		



NS - 315 (塩酸トラマドール)

- 非麻薬性鎮痛剤 -

グリュンター社(独)から導入(世界の約100ヵ国で発売済み)

開発段階 : 癌性疼痛 : P 試験
(2006/11 ~ 追加試験)

開発形態 : 自社

用法 : 3 ~ 4回 / 日

特徴 : 中等度鎮痛剤

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ



NS - 17 (アザシチジン)

- 骨髄異形成症候群治療剤 -

開発段階: P 試験 2007/10 ~

開発会社: ファーミオン社(米)より導入 : 2006/11
米国 2004/07 発売

適 応 症: 骨髄異形成症候群 (MDS)

成 分: アザシチジン

剤 型: 凍結乾燥粉末 / バイアル
(用時溶解、皮下・静脈内注射)

特 徴:

- ・ DNA脱メチル化作用による正常分化増殖誘導
- ・ Low ~ High Risk MDS に有効
- ・ MDS治療の第一選択薬 (米国)



NM441 (プルリフロキサシン)

- キノロン系合成抗菌剤 -

開発段階：国内：発売(明治製菓/スオード錠)：2002/12

海外：アンジェリーニ社(伊)

販売承認：2004/09

発売(伊)：2004/11

(ポルトガル)：2007/01

(キリシャ)：2007/10

欧州各国承認：2005/04

柳韓洋行社(韓)

契約：2003/02

承認申請：2006/07

承認：2007/12

オプティマー社(米)

契約：2004/06

P 試験：2006/05 ~



NS - 187

- 慢性骨髄性白血病治療剤 -

- 開発状況** : イノバイブ社(米)へ導出 : 2005/12
P 試験(欧米) : 2006/07~
- 適応症** : 慢性骨髄性白血病
- 作用機序** : Bcr-ablチロシンキナーゼ阻害
Lynチロシンキナーゼ阻害
- 特徴** : グリベック耐性変異体にも効果

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。